


 Cure and Care
communication

第122号

C&C コミュニケーション

 発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
 Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>


医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

 介護医療院 ひいろ
 介護老人保健施設 まいえ
 グループホーム つばい


社会福祉法人 双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

 通所介護事業所
 居宅介護支援事業所

- ・ 地域連携センター開設10周年 …… 2P
- ・ ふれあい看護体験 & 認知症サポーター養成講座 …… 5P
- ・ 早稲田寄席演芸研究会がきました …… 7P

A3病棟

 ヴー ドック クアン
 しっかりと働いて
 家族に仕送りをし
 たいです。

B6病棟

 チョン ホン ヴェット スン
 日本食をたくさん食
 べたいです。
 日本語をもっと学び
 たいです。

ひいろB3

 ヴー スアン ハー
 宮島へ行きたいです。
 自転車の交通ル
 ールの勉強をした
 いです。

B5病棟

 ダオ ドック スイ
 日本食を食べたい
 です。日本語をもっ
 と知りたいです。

ひいろB4

 ファム ヌー アイン
 N2試験合格を目
 指しています。
 日本人の友人を作
 りたいです。

陽光の家

 チャン ダン ホアン
 大都市を旅行したり、
 おいしい料理を食べ
 たいです。

B7病棟

 ヴー ミン ヴォン
 日本語を上手に話
 せるようになり家族
 を養いたいです。

ひいろB4

 ファム ティフォン
 健康に働きたい日
 本での生活が素晴
 らしいものにな
 るのを願っています。

A3病棟

 デイン ティ タン タオ
 日本語が上手になっ
 て、日本のいろいろ
 なところを探検した
 いです。

ひいろB1

 ファン ティ クイン アイン
 健康で元気に働きた
 いです。

まいえ2

 グエン マイフォン
 日本各地への旅行
 をしたいです。

まいえ1

 レーティアイン
 日本語が上達して、日
 本の同僚と日常会話
 がしたいです。介護
 の仕事が早くできるよ
 うになりたいです。

陽光の家

 グエン チャン ティエット
 日本料理を作りたいで
 す。そして、日本の各地
 を旅行したいです。

地域連携センターが開設十周年を迎えました！

平成二十六年九月「医療福祉相談室」は、「地域連携センター」として生まれ変わり、おかげさまで開設十周年を迎えました。今までの医療福祉相談員だけの環境から、医師、看護師がスタッフに加わり多面的にきめ細かい支援を行える体制を整えてきました。

改めて連携センターの業務をお伝え



すると、①入院相談②入院調整、ベッドコントロール③患者さまやご家族の心理的・社会問題の解決支援④退院支援④医療保険・福祉制度等の情報提供⑤入院中の受診や転院などの支援⑥病棟との連携、カンファレンスの調整⑦各種保健福祉サービスなどの申請に対する支援です。その他外部との連携として、空床情報の発信や医療機関・施設・事業所への訪問などがあり多岐にわたります。業務の見直し・効率化、迅速な入退院調整、顔の見える関係づくりとして病院・施設・事業所への訪問など内・外との連携を高めながら業務に従事してきました。

ご家族の負担を軽減出来るよう修正を重ねてまいりました。昨年五月に第五類になりご家族面会が可能になった後も、対面での相談だけでなく、電話対応もそのまま残し、緊急度やご家族の都合等に応じ臨機応変に対応していく体制としています。今年四月から精神保健福祉法の改正もあり、精神科における入院期間が今迄以上に厳しいものとなりましたが、コロナ感染対策同様に変化を恐れず、逆に好機と捉える意気込みで、患者さま・ご家族の目線に合わせ柔軟に対応していきたいよう取り組んで参りたいと思います。今後も患者さま・ご家族に寄り添う姿勢で、内と外と連携を図りながら業務に邁進してまいりますので、何かございましたら、いつでも遠慮なくご相談下さい。どうか宜しくお願い致します。

ナカムラ病院 地域連携センター

副センター長 小田 茂樹

地域連携センターのメンバー

病院部門

- 医師（センター長） 1名
- 看護師（センター長補佐） 1名
- 医療福祉相談員 6名
- 事務 1名

まいえ部門

- 支援相談員 1名

にぎや家部門

- 医療福祉相談員 1名



長寿の秘訣

今回の長寿の秘訣は、特別養護老人ホーム陽光の家人所中であり最高齢の「寺田ミユキさま」にお話を伺いました。



▲寺田ミユキさま(101歳)

Q 長寿の秘訣は何ですか??

A 「そんなものないよ。自然と年を重ねただけ。」

Q では肌がきれいな秘訣は何ですか?

A 「うーん。化粧水と乳液をつけるといいよ!」

Q 楽しいことや印象に残っていることはありますか?

A 「家族と一緒にいろんなところへ連れていってもらったこと。例えば「グアム、台湾、韓国」海外に行けたこと。」

Q ご家族の方に一言ありますか。

A 「やさしい娘にお礼が言いたいね。お世話になっているし、いろんなところへ連れて行ってもらったからね。」

普段から温厚な性格の寺田さま、今回のインタビューも笑顔でお答えくださいました。常に家族のことを考え感謝を述べられる姿に感銘を受けました。これからもお体に気を付けてお過ごしください。ありがとうございました。



認知症カフェだより

認知症カフェ「サロンドファミーユ」九月二十日、観音台公民館にて八回目の開催となりました。

今回の講話はもみじ銀行五日市ブロックのみなさんによる「シルバライフサポートについて」のお話でした。頼れる家族がいない方のサポートについて、場面ごとにピアポイズメンバーによる寸劇が入ることで、問題をより現実的に感じることができたのではないのでしょうか。

続いて、広島楽友協会よりチェロ奏者の宮本隆一さんにお越しいただき、流れるようなバッハの協奏曲に聴き入った後は、チェロ演奏で歌声喫茶!なんて贅沢なのでしょう。童謡をジャズっぽくアレンジされ

たり、工夫を凝らした演奏に、会場中が胸躍るひとときでした♪
さあ!お待たせいたしました!ピアポイズムの登場です。今回は椅子に腰掛けたまま、上半身を使った体操手遊びを「スノーフリン」に。昭和のスターに扮したメンバーが『東京ラプソディ』を歌い上げる中、みんなで楽しく歌い踊りました!

この体操は近々ナカムラ病院の「Saborio」にもあげる予定です。会場に来られなかったみなさんも是非やってみてくださいね。
私たちと一緒にワクワク・ドキドキ・トキメキを!
またのお越しをお待ちしております。

認知症カフェスタッフ ポブ眼鏡



陽光 ふぁみりー

特定技能実習生の
受け入れを通じた学び

陽光の家では、八月よりベトナムからの特定技能実習生の受け入れを開始しました。

特定技能実習生制度は、国内の人手不足を補い、外国人労働者に対して日本での技術や知識を習得する機会を提供する制度です。

八月に男性を一名、九月に男性を一名受け入れました。初めての経験で、当初から言語や文化の違いに対する不安が大きく、実習生とのコミュニケーションや職場環境の調整に戸惑いがありました。

しかし、その違いをお互いで共有し理解する中で、私たちも多くの気づきを得ることができました。これからは異なる背景を持つ実

習生が持つ視点や考え方をお互いが理解し合うことで、新たな発見をもたらすし、職場の活性化に繋いでいきたいと思います。

特に、実習生が日々努力を重ね、日本の技術を熱心に学ぶ姿勢に触れることで、私たちも仕事への取り組み方を再認識する機会としていきたいと思います。

これからもまだまだ多くの戸惑いがあると思います。その中で実習生とともに成長し、互いに学び合うことで、より良い職場環境を築いていきたいと考えています。

特別養護老人ホーム陽光の家

管理部・事務職

多久美

行宏



栄養のお話

食欲の秋、食べ過ぎ防止のポイント

夏の暑さが和らぎ、多くの食材が旬を迎える秋、冬に向けて栄養を蓄えるために食欲が増します。

《食欲をコントロールするポイント》

- ◆よく噛んでゆっくり食べましょう。満腹中枢を刺激して、食欲抑制に繋がります。また、食材の味を十分に味わうことで薄味でも食べやすくなり、高血圧予防になります。
- ◆食物繊維を多く含むものから食べましょう。食物繊維がゆっくりお腹の中を移動し、水分を吸収して大きく膨らむため、満足感が得られやすくなります。ブドウ糖の吸収速度がゆるやかになり、血糖値の急激な上昇を抑え、糖尿病予防にもつながります。



ナカムラ病院 栄養科 科長
管理栄養士 長村 悦子



つばい こぼれ話

【つばい夏祭り】



八月二十日、つばい恒例の夏祭りです。ダーツや輪投げをしたり、利用者さんとたこ焼きを焼いて食べたりしました。「美味しいね、ビールが欲しいね。」と会話も弾み、次々とおかわりされていきました。

職員「掘って掘ってまた掘って押して〜押してチョンチョンのチョン。」の掛け声に合わせて、炭坑節を踊り始める利用者さん、手拍子をしたり楽しく歌ったり、笑顔いつばいの夏祭りでした。

グループホーム つばい

介護職 坂本 えりな

八月七日、介護医療院ひいろで高校生を対象としたふれあい看護体験を行い、六名の学生が参加しました。実際に白衣を着用し、施設見学、手洗い、入所者さまとのコミュニケーション、食事介助、病院食の試食、車椅子の操作やバイタルサイン測定を体験してもらいました。



ふれあい看護体験



緊張している様子も見られましたが、積極的に体験する姿や、笑顔で入所者さまと関わる姿も見られ、「普段できない体験ができて良かった。」と感想が聞かれました。すでに進路先が決まっている学生もいましたが、今回の体験を通して看護師の道へ一歩踏み出すきっかけになれば良いと思います。

介護医療院ひいろ B1療養棟

看護職員 田川 茜



城山包括認知症講習会 ～認知症サポーター養成講座～

令和6年6月28日(金)に広島市立城山中学校の全校生徒さんと保護者、教職員の方々を対象に認知症サポーター養成講座を実施いたしました。

初めにナカムラ病院理事長の中村友美医師による「認知症の理解を深め、認知症の方と接する時の心構え」の講義、続いて私は「認知症の方との接し方」の講義、寸劇を担当させていただきました。中村医師の講義では専門的な言葉を使いながらも分かりやすい言葉で認知症についての理解を深めていきました。学生さんの反応も熱心にメモを取ったり頷いたり、とても意欲的に講義に参加されていました。

寸劇では身近な事柄を生徒さんが演じ、「この時の声掛けはこのほうが良いよね。」「こうしてみた方が良いかな」など劇を通じて学ぶことができました。

「認知症」というテーマを皆さんと一緒に勉強できたこと、考えられたこと、共有できたことはこれからの生活に生きてくることだと思います。認知症は誰もがなりえる病気です。だからこそ認知症の方々が住みやすい地域を作ることが、認知症サポーターの役割だと思います。

特別養護老人ホーム陽光の家 認知症アドバイザー 佐々木 雄治





九月二十七日、五日市観音西小学校二年生の児童四名が『町たんけん』でナカムラ病院に来てくれました。

薬局・歯科・放射線室・屋上などを見学し、診察室に入ると、医師の白衣を着てミニDr.に変身しました。医師からの説明とサポートで



実際にエコー検査を行ってもらったほか、認知機能VRなど、日常ではなかなか出来ない体験をしてもらうことができました。

はじめは緊張した様子の子供たちでしたが、体験を通して笑顔もみられるようになり、質問タイムには目をキラキラと輝かせながら、元気いっぱい質問があり、私たち職員もたくさんパワーをもらいました。

また後日、可愛くて素敵な写真入りのメッセージをいただき、職員一同とても励みになりました。これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。

副看護部長 中村 智子



令和六年九月六日に自転車講習会を開催いたしました。八月末に来日したベトナム人技能実習生に向けたもので、佐伯警察署の浅井様にお話をいただきました。お話しの際にはベトナム人の方に通訳をしていただきました。

講習では、自転車講習会の前に、日本で生活するうえで気を付けることとお話いただき、近隣住民の方と積極的にコミュニケーションを取ること。日本では夜間はテレビやオーディオのボリュームを小さくすることがマナーなどの話に、実習生もしつかりと耳を傾けてうなずいていました。

次に自転車講習会を行い、日本では左側通行であること、二人乗りやスマホを持つての「ながら運転」の禁止、右左折時の注意点などをお話いただきました。日本語の標識などについては、ベトナム語に翻訳した資料を基に丁寧にご説明いただきました。講義の後には、実際に自転車を持つてきて操作説明や、

実際にヘルメットを被って乗車体験を行いました。
今回の講義を受けて、日本で暮らす際のマナーや自転車のルールを再認識できたようです。

安全運転管理者 中森 一宏



講義の様子です



自転車の説明と乗車体験を行いました

いきいき行事ダイジェスト

7月

- オペラアンサンブル広島公演 (全体行事)
- 七夕会 (B3)
- 七夕会 (B5)
- 七夕会 (B6)
- 七夕飾りで写真撮影 (B7)
- 七夕会 (まいえ1)
- 夏祭り (まいえ2)
- 流れ星に願いを込めて! (にぎや家)
- 七夕会 (つばい)
- バスハイク〜マリナーホップ 水族館へ行こう〜 (つばい)
- 売店 (陽光の家)
- おやつレク【いこい・つどい・ほほえみ・ふれあい】(陽光の家)
- 夏祭り (陽光の家)



8月

- 納涼お楽しみ会 (全体行事)
- うちわで風船バレー (B5)
- ひまわりの飾りで写真撮影 (B6)
- ポップコーン作り (B7)
- フルーツバイキング (まいえ1)
- 盆踊り&うちわリレー (まいえ2)
- かき氷をたくさん作ろう (にぎや家)
- つばい夏祭り (つばい)
- おやつレク【いこい・つどい・ふれあい・ほほえみ】(陽光の家)
- 売店 (陽光の家)
- 選択食 (陽光の家)



9月

- お月見お茶会 (まいえ1)
- 敬老を祝う会〜笑顔で元気に風船バレー〜 (まいえ1)
- お月見だんごゲーム〜たくさん乗せてね〜 (にぎや家)
- 敬老会 (つばい)
- 売店 (陽光の家)
- おやつレク【いこい・つどい・ふれあい・ほほえみ】(陽光の家)
- 秋祭り (陽光の家)
- 敬老会 (陽光の家)



八月二十七日、久しぶりに「ヨセケン」の皆さんが来てくれました！
早稲田寄席演芸研究会は六三年の歴史を持つサークルで、毎年夏に演芸ツアーと言う精神病院を巡るツアーを行っております。精神科を対象とする理由のひとつには、精神病院が笑いやこういつたアクティビティに寛容なことがあります。笑いも精神治療のひとつになるようですから、その一助となれることが喜ばしい限りです。

このツアー自体は二〇〇〇年代から始まっております。コロナにより一時的に行っておりませんでした。が、コロナが開け今年から再開いたしました。ノウハウがあまりなく、探り探りでのツアーとなりましたが、病院の方々は暖かく接していた

FROMボランティア

早稲田寄席演芸研究会



だき、患者さまも楽しそうにしてくれたことが何よりの思い出です。これからも代を重ねる毎、公演を重ねる度、より良い公演に出来るよう精進していきたいと思っております。来年も呼んでいただけたら今年より良いものを届けます。皆さまお世話になりました。

早稲田寄席演芸研究会

山村 幸翼



また来てね!

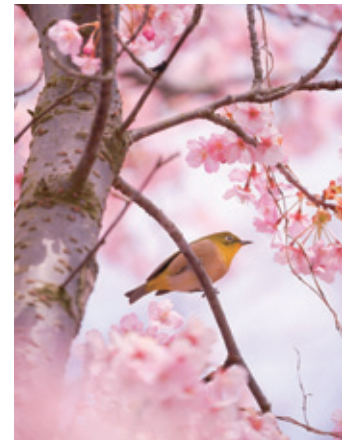
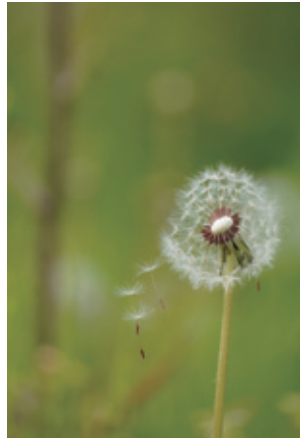




写真展
**誰かの記憶の
 片隅に**

PIAギャラリーでは、九月十一日から十月二十四日まで、PIA職員である三好奈緒さんの写真展を開催しております。計三十点の心温まる写真がナカムラ病院を彩ります。

三好さんはカメラを始めて五年。景色や動物を撮るのが好きで、誰かの心がホッとするような写真を撮ることを心掛けています。



どの季節も巡る度に美しく、土にも石にもコンクリートにも鉄にも全に命が宿っている。今この瞬間を生きている命が尊く、『ありがとう』と祈りながら、日常に魔法をかけてシャッターを押す。カメラを始めてから、三好さんはどんな季節や天候も楽しめるようになり、上を向くことが増えたそうです。

楽しい時も、寂しい時も、涙を流す時も、どんな時も見上げれば空があつて、空はいつも側にいてくれる。だから、きつと大丈夫。そんな空のように皆さまの心に寄り添えるような写真を三好さんは撮り続けていきます。

PIAギャラリーを訪れた方が素敵な時間を過ごせますように。そして、明日が優しい時間になりますように。

施設清掃 三好 奈緒
 事務部 穴田 雄大



今月号の
表紙のご紹介
 VIETNAM

六ページに掲載している「自転車講習」に参加した技能実習生を撮影しました。撮影場所はナカムラ病院三階のテラスです。六月に人工芝が敷かれました。

八月末に来日し緊張している実習生ですが、この時は少しの時間仲間と一緒に過ごすことができ、自然と笑顔が出ていました。

医療福祉相談員 中森 一宏

編集後記

少し前、初めて火球を見ました。—火球。ご存じのかたも多いと思いますが、流星の中でも特に明るいものことだそうです。

ある夜ただぼうつと空を見ていたところそれは突然現れ、黄から赤へと変色しながら下降し瞬く間に消えていきました…。

空も澄んでくるこの季節、こんな偶然もあるかもしれませんし、また、ただ星を眺めているだけでも心安らぐものです。

みなさんもしばし日常を離れて、秋の夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？
 (F)

佐伯区認知症初期集中支援事業
オレンジ支援チーム

医師、看護師など
 医療・介護の専門
 家チームがご自宅
 訪問いたします

ご相談はお近くの 地域包括支援センターへ